

## 詩篇8篇 交読文

(指揮者のために。ギデトにあわせて。ダビデの賛歌)

主(ヤハウェ)よ。 (1)

私たちの主(主人)よ。

御名は全地で、なんと威厳に満ちていることでしょう。

そのご威光は、天を越えたところに輝いています。 (イザヤ40:22参照)

あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられ、 (2)

刃向かう者を沈黙させ、敵と仇(あた)とを動けなくさせました。  
(マタイ21:14-16参照)

あなたの指のわざである天を仰ぎ見、 (3)

あなたが配置された月や星を見ますのに、

人とは、何者なのでしょう。 (4)

これを御心に留めてくださるとは。

人(アダム)の子とは、何者なのでしょう。

これを顧みてくださるとは。 (I 歴代17:16,17参照)

あなたは彼を、神よりわずかに低いものとされて、 (ヘブル2:7参照) (5)

栄光と誉れの冠をかぶらせてくださいます。

あなたは御手のわざの数々を彼に治めさせようと、 (6)

すべてのものを彼の足の下に置かれました。 (I コリント15:27参照)

すべて、羊も牛も、また、野の獣も、 (7)

空の鳥、海の魚、海路を通うものも。 (8)

主(ヤハウェ)よ。私たちの主(主人)よ。 (9)

御名は全地で、なんと威厳に満ちていることでしょう。

注:ギデトの意味は諸説があり定かではないが、立琴の一種ではないかと思われる。

1 節最後の行は原文で「それ(御名)は、あなたの威光を諸天の上に置かれた」となっている。

2 節の「(刃向かう者を)沈黙させ」は、「幼子と乳飲み子の口」との対比での意識。

4 節の二行目の「(人の子とは)何者なのでしょう」は、原文では省かれていることば。

5,6 節の「彼」は、本来 4 節の「人」または「アダムの子」を指し人類全般を意味するが、ヘブル 2:7、I コリント 15:27、エペソ 1:22 では「キリスト」を指す代名詞として理解されている。

5 節、6 節は、動詞の時制として、「低いものとされて」は完了(厳密にはワウ倒置未完了)、「冠をかぶらせ」は未完了(未来的な意味)、「治めさせようと」は同じく未完了(未来)、「置かれました」は完了という区別が敢えてつけられていると解釈できる。

イザヤ 40 章 22 節「主は、地をおおう天蓋の上に住む方。地の住民はバッタのようだ。主は、天を薄絹のように延べ広げ、これを天幕のように張って住まわれる。

マタイ21章9-16節「群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。「ホサナ、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。」…<sup>14</sup> また、宮の中で、目の見えない人たちや足の不自由な人たちがみもとに来たので、イエスは彼らを癒やされた。<sup>15</sup> ところが祭司長たちや律法学者たちは、イエスがなされたいろいろな驚くべきことを見て、また宮の中で子どもたちが「ダビデの子にホサナ」と叫んでいるのを見て腹を立て、<sup>16</sup> イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」 イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか」

I 歴代誌17章11-17節 ダビデに対する主の約束「わたしはあなたの息子の中から、あなたの後に世継ぎの子を起し、彼の王国を確立させる。彼はわたしのために一つの家を建て、わたしは彼の王座をとこしえまでも堅く立てる…<sup>16</sup>ダビデ王は主の前に出て、座して言った。「神、主よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なのでしょう。あなたが私をここまで導いてくださったとは。<sup>17</sup>神よ。このことがあなたの御目には小さなことでしたのに、あなたはこのしもべの家について、はるか先のことまで教えてくださいました。神、主よ、あなたは私をすぐれた者として見てくださいます。」

ヘブル2章6-9節「ある箇所、ある人がこう証しています。『人とは何ものなのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたがこれを顧みてくださるとは。<sup>7</sup>あなたは、人を御使いよりわずかの間低いものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせ、<sup>8</sup> 万物を彼の足の下に置かれました。』

神は、万物を人の下に置かれたとき、彼に従わないものを何も残されませんでした。それなのに、今なお私たちは、すべてのものが人の下に置かれているのを見てはいません。<sup>9</sup> ただ、御使いよりもわずかの間低くされた方、すなわちイエスのことは見ています。イエスは死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠を受けられました。

I コリント15:25-28「キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、王国を父である神に渡されます。すべての敵をその足の下に置くまで、キリストは王として治めることになっているからです。<sup>26</sup>最後の敵として滅ぼされるのは、死です。<sup>27</sup>『神は万物をその方の足の下に従わせた』のです。しかし、万物が従わせられたと言うとき、そこには万物をキリストに従わせた方が含まれていないことは明らかです。<sup>28</sup>そして、万物が御子に従うとき、御子自身も、万物をご自分に従わせてくださった方に従われます」